

令和3年6月20日

奈良県立高田高等女学校・高田高等学校  
創立百周年記念事業実行委員会 各専門委員会 委員各位

奈良県立高田高等女学校・高田高等学校  
創立百周年記念事業実行委員会  
実行委員長 中尾勝二

## 創立百周年記念事業実行委員会第8回企画委員会の協議内容について(報告)

時下、益々御清祥のこととお喜び申し上げます。

高田高等学校では、来る2021年(令和3年)11月1日にめでたく創立百周年の慶事を迎えるにあたり創立百周年記念事業実行委員会を組織し、各専門委員会で協議し、各方面で諸事業の具体化を進めているところです。コロナ禍の大変厳しい日常の中、専門委員会委員の皆様には各記念事業の推進のためにご尽力をいただいていることに厚くお礼を申し上げます。

さて、令和3年6月20日(日)に開催しました第8回企画委員会におきましては、各専門委員会における取組内容やその進捗状況について、互いに確認し合うとともに、記念事業ごとに、今後の具体的な方向性について検討をいたしました。

各専門委員会委員長より報告・提案、企画委員会の出席者によって審議の上決定されました内容を、下記のとおり、実行委員各位に報告させていただきますので、ご確認くださいようお願い申し上げます。

なお、詳細につきましては、高田高校HPの100周年記念事業実行委員会コーナーに議事録を掲載いたしておりますので、ご覧いただきますようお願いいたします。

また、このことについて、ご質問等がございましたら、

実行委員会事務局(高田高等学校): 0745-22-0123 までお問い合わせ願います。

## 記

### 1 はじめに

- (1) 開会挨拶 中尾実行委員長、乾校長、右馬PTA会長
- (2) 出席委員紹介(実行委員会名簿により) 出席者 27名

### 2 議事

#### (1) 経過報告

次のことについて、中尾委員長より資料に基づき報告・審議がなされた。

- ① 第7回企画委員会(令和3年2月21日開催)協議内容を資料に基づき確認
- ② 全般的な進捗状況について実行委員長より説明

特に、令和3年11月1日実施の記念式典・祝賀会については、新型コロナウイルスの感染防止の観点から参加者の健康と安全を第一に考え、審議の上で次のように決定された。

「記念式典はウイルス感染対策に万全を期し、実施するが、祝賀会(於:THE KASHIHARA)は、新型コロナ感染防止の観点から、中止する」

(2) 各専門委員会からの報告・提案及び協議・決定事項(各委員長から説明)

①募金委員会

- ・令和3年5月31日現在、特定募金が34,962,000円、一般募金が8,611,201円、合計43,573,201円という状況にある。特定募金期間は、令和3年5月31日で終了したが、一般募金については令和3年10月末迄受付中である。学年同窓会からも寄付の申し出をいただいております。目標額に近づくよう取り組んでいきたい。

② 記念事業委員会

- ・令和3年5月11日に、鳩蘭会館(同窓会館)改修工事完成式及び銘板落成式が行われた。改修工事の設計・施工は亞騎野建設(代表:一級建築士 佐々岡弘昭氏)に依頼し、耐震補強、一階食堂が大改修された。
- ・「鳩蘭会館」銘板の揮毫は鳩墨会会長の松村康子氏に、高等女学校及び高等学校の校章の制作は奥本義博氏(高23回卒)にご協力をいただいた。
- ・企画委員会終了後、鳩蘭会館内部を見学し、施工担当の佐々岡氏より説明を受けた。
- ・当初は鳩蘭会館の完成式を報道各社に取材依頼をする予定であったが、新型コロナウイルス感染状況下であり、取材依頼は控えさせていただいた。今後は出来る限り情報は発信していきたい。

③ 総務委員会

- ・募金者への返礼品について、対象者及び品目については今後具体的に検討していく。
- ・募金返礼品については、「高田高校百年物語」、「100周年記念誌」、「校訓入り記念品」などの他、再度検討し、7月～8月中に決定、第9回企画委員会で報告の予定。
- ・記念品等の収納バックには不織布袋を検討して、名入りのデザインについては生徒の皆さんにも協力を依頼したい。
- ・募金者への返礼は、感謝の気持ちを形で表すものであり、金銭類似性や換金可能性の高いものは返礼品としてふさわしくないとの指摘がある。お礼状や、活動報告を送るなどの方法が考えられる。

④ 記念誌編纂委員会

- ・「奈良県立高田高校百年物語」、「高田高校100周年記念誌」の二本立てで準備をしている。
- ・「百年物語」については、井岡康時氏(奈良大学文学部教授)に執筆を依頼し、いただいた草稿原稿を編集委員会で意見集約、要望事項を求めた。現在、加筆・修正をいただいております。9月中旬に完成させたい。上撰本400部、一般本3600部を橋本印刷株式会社に製本を依頼する。
- ・「100周年記念誌」について、祝辞原稿、校内各分掌・各クラブに原稿を依頼中である。1500部を株式会社サカタ企画印刷に製本を依頼する。

⑤ 行事・式典委員会

- ・式典は、橿原文化会館にて、第一部の式典(10:00～11:30)、および第二部の講演(11:50～12:35)の予定をしている。第一部では、演劇部による劇、吹奏楽部による100周年記念曲「アルマ・マータ」の演奏に続き、式次第に依り、式典が執り行われる。第二部では、寺川綾氏(元五輪出場選手)の講演が行われる。参加者は招待者、生徒、教職員を含めて1,334名となり、大ホールのみでは収容人数を超えてしまうことにより、小ホールも利用し、大ホールの映像をライブ中継する予定をしている。講演後には寺川氏に小ホールに移動してもらう。
- ・記念式典に係る経費(講演経費を除く)は2日間のホール使用料も含め、約1,800,000円を予定している。

(3) その他

- ・次回、企画委員会は令和3年9月12日(日)の予定
- ・各専門委員会の日程(適宜、必要に応じて随時行う)